

私たちも頑張っています！

伊高 利子様

温泉町で被災し、スポーツパレスに避難して4か月、西間第二仮設で3年ほど暮らし、現在は買い物も病院も近くにある相良団地に落ち着きました。

被災当時は一瞬の事で大変でしたが、友人や親戚、ボランティアの方々からの支援に励まされ、大変感謝しております。全国の子どもたちや婦人会、色々な方から、お手紙や手作りの小物など頂いた品物はお守りさんとして、大事に大事に部屋の中に楽屋のように飾っております。

避難所で知り合った方々と今でも友達としてのお付き合いがあります。また、支え合いセンター主催のオープンカフェには料理を持参して参加していました。今も月1回の交流が続いています。

相良団地での生活もなれ、花が好きなので、今でも花づくりを楽しんでいます。温泉町である乙女の会では、作った料理やおつけものを持ち寄って、時間を忘れる位話がはずみます。

昔からの友人、被災からのお友達と食事や旅行に行ったり、いつも誰かが来てくれるのでボケる暇がなく、毎日感謝をわすれず楽しく過ごしています。

これまで支え合いセンターから訪問してもらい、たくさんの情報ありがとうございました。

(担当：河野統子・藤田程子相談員)



和田 明子様

相良団地に越してきて約1年がたち、友人も増えました。私の趣味は洗濯で、ベランダは陽当たりが良いので毎日何かを洗って干しています。

団地内には以前住んでいた下青井町での知り合いもいるので、イベントのお誘いがあればできるだけ参加して楽しんでいます。

体の事を考えて、病院での検査や歯の治療は続けて薬もきちんと飲むようにしています。

これからも元気で長生きをしたいと思います。



(担当：河野統子・藤田程子相談員)



スマイルだより

No.11
2025.1

被災された方々が生活再建できるよう、見守りや生活・健康支援や地域交流の促進など総合的な支援を行っています。

編集発行 人吉市地域支え合いセンター
人吉市西間下町4番地1
☎ 0966-24-5570

前回に引き続き、相談員紹介も兼ねて手記を掲載します。

緒方・地内相談員は、相良町・上薩摩瀬町・上下永野町・上下戸越町・鹿目町を担当しています。

地域支え合いセンターの相談員としての活動が4年になりました。担当地域の範囲が広く、時には走行距離が1日50kmに及ぶこともありました。

活動当初は物資をお届けしながら被災された方々にお会いして、被災状況や健康状態、お困りごと等をおたずねしていました。所在不明の方や何回行ってもお会いできない方については、町内会長さんをはじめ町内会の方々に情報をいただきながら、夜間訪問等、何度も訪問も重ね、なんとか全員にお会いすることができました。

狭い山道を片道15km運転した先の、ポツンと一軒家にお住いの方がおられました。裏の崖崩れの際は地域の方の声掛けで避難できたとのことでした。誰もが孤立せず支え合うことができるよう、地域の絆を深めることの大切さに気付かされました。相談員として多くの人に出会い、貴重な体験をさせていただいたことに感謝します。



5班 緒方節子・地内久美子相談員



相良団地入居後の支援（令和6年1月から）

相良団地入居後、支え合いセンターは、相談員の戸別訪問の他、入居者同士が知り合うきっかけづくり、いざという時に助け合える関係づくりに繋がるようにと、令和6年2月から9月まで月1回オープンカフェ（自由参加の茶話会）を開催し、延べ207人の方にご参加いただきました。

オープンカフェがきっかけで知り合いができた、懐かしい人と再会したり、様々な出会いがあったようです。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました！



令和6年5月18日
東京から被災者応援フラメンコキャラバン隊の皆様に来ていただき、子ども達の参加もあり賑わいました。



オープンカフェ



令和6年3月17日
相良町内会主催で相良団地入居者（75歳以上の方）との交流会開催。支え合いセンターは市福祉課被災者支援係と一緒に、開催のお手伝いをしました。



ラジオ体操開催支援



憩いの場づくりとして、1階だんだん広場等に仮設団地で使われていたベンチを移設し、団地入居者有志の皆様が綺麗に塗装してくださいました。ありがとうございます！



令和6年7月5日
サントリー様よりキッチンカーでのコーヒー提供をしていただきました。



支え合いセンターからの定期訪問から相良町の見守り活動への移行

人吉市では町内単位で見守り活動が行われています。対象は75歳以上ひとり暮らし高齢者世帯等、地域で見守りを必要とする方です。現在、支え合いセンターの定期訪問から相良町の見守り活動へのつなぎを行っています。

